



新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史
(春日居総合リハビリテーション病院)

令和5年5月19日(金)に開催された定時社員総会への出席、事前の議決権の行使ありがとうございました。新型コロナウイルスも5月に感染症法上の位置づけが5類に変更されましたが、当会では4年連続で会場出席者は最少人数とし、会員へは書面での意思表示での参加とさせていただきました。当日は113名(会場参加10名、書面評決62名、委任状41名)の会員が参加され、滞りなく総会を開催することができました。また、理事会より提案をさせていただいた全ての議案に対して承認をいただき感謝申し上げます。

皆様の手元に届いた議案書を改めて確認していただくと、コロナ禍においても学術活動、人材育成活動、広報活動、職能活動、それに3士会の活動、介護支援専門員協会も含めた4団体の活動など多くの充実した事業をオンライン中心に展開されました。それに多くの会員が参加されたこと感謝申し上げます。

3年前に山梨県から委託されて始まった失語症者向け意思疎通支援事業も順調に意思疎通支援者も養成され、県の目標である30名を登録することができました。支援者の派遣事業に関しては今年度も現時点で11市町と契約を締結しています。昨年度は甲府市を中心に派遣事業が展開されてきましたが、多くの市町で本事業が展開され失語症のある方の生活のしづらさの解消や社会参加の促進を図る上でも在宅生活を送る当事者やご家族に本事業の周知をお願いいたします。

9月30日には3年間延期となっていました「失語症全国大会 in やまなし」を当会が主催となって展開します。全国各地からこのイベントを楽しみに当事者やご家族、また友の会の支援に携わっている言語聴覚士が社会的活動への参加を楽しみに甲府に集結します。当会が初めて担当する全国的なイベントではありますが、山梨の地で多くの当事者の笑顔が見れるよう準備を進めている段階です。会員の皆様、是非ご協力をお願いいたします。

当会は140名程度の全国的にも小さな職能団体です。小さな職能団体の良さとして会員皆で手作りの会、職場や年齢に関係なく意見や会話が出来る顔の見える会として設立時より運営をしてきました。しかし、コロナにより事業の対面・集合開催などの自粛期間の3年間経て会員の多くは以前の当会の活発な活動を知ることなくなり、顔の見える関係作りも構築されないままオンラインでの事業が展開され、会員同士の連携が希薄化している危惧はあります。

集合開催が可能か否かは私や理事会の覚悟も必要ですが、少しでも以前のような活動に近づけるように努力したいと思います。

今年度も県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルスは完全に終息はしていません。感染症法上の位置づけが変わったことで感染リスクは増加している可能性もあります。会員をはじめ皆様のご健康を心より祈念いたします。



令和5年度 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 定時社員総会報告

春日居総合リハビリテーション病院 河西 祐子

令和5年度社員総会は5月19日（金）午後7時より湯村温泉病院3階多目的ホールで開かれました。今年度も新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、最少人数での開催となりました。会員には事前の議決権行使を推奨した結果、事業年度終了時の社員132名に対し、出席者は、会場出席10名、委任状提出41名、書面表決提出62名の計113名でした。出席者が定足数を満たしたため、社員総会は有効に成立しました。

内山量史会長の挨拶ののち、議長に池神多加子氏が選出され、令和4年度の事業報告・収支決算報告、監査報告、令和5年度の事業計画案・収支予算案、山梨県リハビリテーション専門職団体に関する件の6議案について審議しました。すべての議案が賛成多数で可決され、午後7時45分に閉会となりました。総会の様子はZoomで配信し、会場に来られなかった理事や会員が傍聴しました。総会終了後には、第1回理事会を開催し、新入会員6名が承認され、新年度の活動がスタートしました。



新 卒 者 研 修 会 皆 勤 賞

「新卒者研修参加者代表記」

皆勤賞受賞者

春日居総合

リハビリテーション病院

塚本 直輝 先生

恵信甲府病院

濱崎 野如 先生

恵信梨北

リハビリテーション病院

平澤 輝彦 先生

甲州リハビリテーション病院

河西 夏希 先生

春日居総合リハビリテーション病院 塚本 直輝

令和4年度の新卒者研修会に参加させていただきました。今年度も新型コロナウイルスの感染により、Zoomを使用したオンライン形式での開催となりました。講義は非常に充実した内容で、言語聴覚士の職務と役割から始まり、認知症サポーター養成講座、失語症・高次脳機能、SLTAの実践・検査方法、摂食・嚥下障害、運動障害性構音障害まで幅広く学ぶことが出来ました。臨床場面や模擬した映像を用いた実技や評価などを学ぶことができ、より深い理解が得られました。他の参加者と話す機会を設けて下さったことにより意見交換ができ、更なる活力となる話し合いができました。ご多忙の中、貴重な講義を開いていただき、誠にありがとうございました。



臨床場面では、自分の力不足を痛感することが多いですが、先輩方からのご指導や患者様からの学びを大切に、知識や経験を積み重ねていきます。

会員に聞く～10年目の経験者の声～

国民健康保険 富士吉田市立病院
舟越 誠治

私は神奈川県回復期病院にて3年の勤務の後、山梨への転居を機に富士吉田市立病院に入職し11年が経過致しました。

当院の10年の経過を振り返りますと、私が入職当初は、言語、高次脳機能障害、摂食嚥下障害への理解も低く、院内への啓蒙活動から始めたことを思い出します。近年では新型コロナ感染への対応もあり、その都度、どのように他職種と連携を図っていくのが良いのか、限られた人員、時間で何ができるのか手さぐりでやってきました。その中でも、脳神経外科、脳神経内科の医師と協力し臨床に励んでいること、耳鼻科医の協力のもと、院内嚥下チームを立ち上げ、嚥下回診を絶やさず運営できていることは良かった点かと思えます。

紆余曲折ありましたが、皆様に支えられて今日までやってこられたと思います。まだまだ課題も多々あると感じておりますが、今後を見据え、持続可能な活動を着実にしていきたいと思っております。



施設紹介

医療法人慶友会 城東病院
中込 夏菜美

当院は、1983年に甲府市に開院した老人病院です。2006年には病棟の一部を山梨県初となる「介護医療院」へと転換し、医療と介護のすみ分けを図りました。

地域への取り組みにも力を注いでおり、「地域包括支援センター」、「オレンジカフェ」、病院の位置する琢美地区でのフレイル予防事業、通称「こちたく」等の運営を行っています。



私自身は2022年11月に入職後、病棟を問わず依頼があれば経口摂取の可否や食形態のステップアップ等を多職種と検討し、スピーディーに実践へ移せるよう介入しています。長期の入院の中で経口摂取の機会が少ない方、様々な疾患を抱え経口摂取自体ハイリスクの患者様も多くいらっしゃいますが、「最期まで口から食べることを諦めない」をテーマに食べることを通して患者様の入院生活を支えるとともに、患者様やそのご家族の笑顔を増やせるよう努力していきたいと思っております。

令和5年度
山梨県言語聴覚士会
新入会員紹介



甲府城南病院

おおしま まな
大島 愛

甲府城南病院に入職いたしました、大島愛と申します。出身は長野県で大学は新潟医療福祉大学に通っていました。入職して2カ月が経とうとしておりますが、まだまだ分からないことばかりで奮闘の毎日です。

ですがやっと言語聴覚士になったのだと嬉しく思います。

一年目を大事に過ごして先輩方のような言語聴覚士にいち早くなれるよう精進していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



甲州
リハビリテーション病院

かねこ ゆうみ
金子 優実

山梨県中央市出身です。今年の3月に栃木県にある国際医療福祉大学を卒業後、自分の出身地である山梨県で働きたいと思い、4月から甲州リハビリテーション病院に入職致しました。趣味は実家で飼っている

二匹の猫と戯れることで、毎日の癒しとなっています。患者様一人一人のその人らしさを考え、患者様に安心してもらえるような言語聴覚士を目指して励んでまいりたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、
よろしくお願いいたします。



甲州
リハビリテーション病院

なかしま みずほ
中島 瑞穂

私は、山梨県南アルプス市出身です。帝京平成大学で言語聴覚士としての知識や技術を学びました。卒業後は、言語聴覚士という形を通して地元である山梨県に貢献したいと思い、甲州リハビリテーション

病院に入職致しました。患者様の生活に目を向け、どのようなことが必要になるのかを考えて支援できる言語聴覚士を目指

します。早く職場に慣れ、皆さまとの信頼関係を築くことができるよう努力します。

よろしくお願いいたします。



新藤歯科医院

しんとう くみ
新藤 久美

今年山梨に転居し、義実家の新藤歯科医院に非常勤勤務しております。

ST10年目です。出身は東京で以前は日本歯科大学に勤務し、小児の言語・コミュニケーション、構音、吃音、特別支援学校や支援級との連携、成人では構音、頭頸部がん術後のPAP作製等をしてきました。

今後、STとしてこちらでどのような活動ができるか模索しつつ、摂食嚥下専門の夫と共に地域に貢献できればと思います。

みなさまと情報共有をしながら色々と教えて

いただきたいです。どうぞよろしく

お願い申し上げます。



湯村温泉病院

ごみ ゆうま
五味 優真

出身は「標高 1300mの星降る里」長野県原村です。山梨県に住むのは初めてで、まだまだ慣れないことも多く、右往左往する毎日です。患者様の甲州弁に圧倒されることも少なくありません。知識技術ともに未熟

ですが優しい先輩方や患者様に教えていただきながら早く一人前のSTになれるよう頑張ります。これからも患者様が笑顔になれるよう努力して参りたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



湯村温泉病院

まつむら りりか
松村 梨里香

沖縄県出身です。特技は琉球舞踊とハンドボールです。去年の夏、臨床実習のため初めて山梨県へ来ました。様々な症状のある患者様との関わり方やリハビリの様子を見学し、私も先輩方のようなSTになりたいと思い山梨県へ来る事を決断しました。県内で8番目の沖縄出身ST

になりました。時々帰りたくなる事もありますが、毎日多くの事を学びとても楽しく充実しています。STとしての知識や技術、社会人としても少しずつ成長できるよう頑張ります。

宜しくお願い致します。

失語症全国大会 in やまなしのお知らせ

「失語症全国大会 in やまなし（第34回日本失語症協議会および第9回失語症デイ振興会）」が、コロナ禍の3年間の延期を経て、開催されます。失語症を抱える皆様が楽しんでいただけるよう、実行委員会ではたくさんのお話し合いを重ね、企画、検討をしています。失語症全国大会が開催される9月は、山梨が世界に誇るぶどうが旬な季節です。全国の皆様が山梨を訪れ、再会していただけることを楽しみに、今後も実行委員一丸となって準備を進めて参ります。是非、多くの方々がご参加されますことをお待ち申し上げます。

日時

2023年9月30日（土）
10時15分～16時30分（受付9時30分～）

会場

山梨県立図書館 イベントスペース

（山梨県甲府市北口2-8-1）

大会プログラム

講演会

◆大田 仁史 先生（茨城県立健康プラザ 管理者）

シンポジウム

「失語の“^{いま}現在”と“^{これから}未来”」

◆失語症のある方の現状

園田 尚美 氏（NPO 法人失語症協議会理事長）

◆医師の立場から失語症のある方の地域生活を考える

渡邊 修 先生（東京慈恵医科大学附属第三病院リハビリテーション科診療部長）

◆日本言語聴覚士協会の今後の活動について

深浦 順一 先生（一般社団法人日本言語聴覚士協会 会長）

◆失語症者向け意思疎通支援事業について

立石 雅子 先生（一般社団法人日本言語聴覚士協会 副会長）

お楽しみレクリエーション

◆みんなで歌おう・群読「若竹の会」・やまなしいきいき体操

◆じゃんけん大会

◆モザイクアート

お楽しみ企画 その1

つながる全国大会

会場の様子を Zoom にて視聴することができ、オンライン上での参加型のプログラムも企画しています。個人・団体でも参加することが可能です。当日は、友の会を開催している各地からもオンラインでつながることが可能です。

定員：80名

申込締切：7月31日

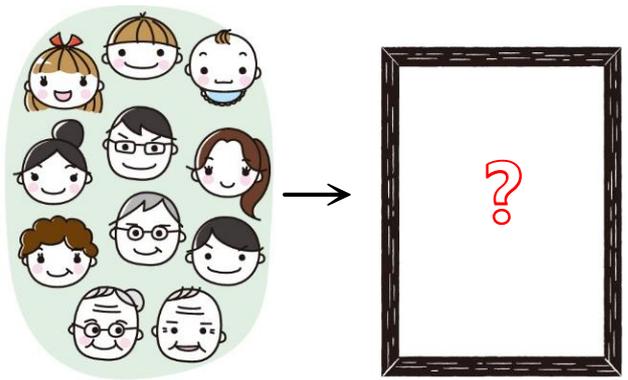


お楽しみ企画 その2

モザイクアート

当日会場に来場してくださった方々の写真を撮影して、モザイクアートを作成します。

どのようなモザイクアートができあがるかは、当日のお楽しみです！会場に足を運んで、会場全員で一つの作品を作り上げてみませんか。



実行委員名簿

大会長	利根川 喜則
副大会長	櫻井 集
実行委員長	内山 量史
実行委員	赤池三紀子（湯村温泉病院）
	中村 晴江（甲府城南病院）
	市川 奈弥（甲府共立病院）
	桂川 謙祐（甲府城南病院）
	高橋 正和（石和温泉病院）
	山田 徹（笛吹中央病院）
	吉澤 由香（甲府城南病院）

赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）
石垣 亮太（甲斐リハビリテーションクリニック）
河西 祐子（春日居総合リハビリテーション病院）
佐々木蘭子（春日居総合リハビリテーション病院）
舟越あゆみ（デイサービスいろは）
元木雄一郎（甲州リハビリテーション病院）



三二講座

～唾液のチカラで健康と笑顔を～ 「ペプチサルシリーズ」のご紹介

ティーアンドケー株式会社 東日本地区担当 上辻 享

平素より大変お世話になっております。

ティーアンドケー株式会社の上辻と申します。

弊社からは、2015年に発売いたしました「ペプチサル」シリーズのご紹介をさせていただきます。

ペプチサルは、唾液のチカラに着目し開発されたオーラルケア製品です。唾液は24時間常に口腔機能を守る存在で、口腔の健康の最前線部隊と言われていています。自浄作用や抗菌作用があり、口腔内の保清と保湿の役割を果たしてくれていますが、何らかの原因で唾液の分泌が減少すると、口内の細菌が増え、口臭や口内炎が生じたり、虫歯や歯周病にかかりやすくなる場合もあります。さらにはお口の中が清潔に保たれていないと、誤嚥性肺炎など全身疾患のリスクも高まります。

ペプチサルの特徴

唾液のはたらきの中でも重要な3つの作用に着目し、サポートできる製品として作られています。

①保湿・粘膜保護作用

唾液の研究から生まれた特殊な保湿成分を配合しています。

②抗菌（静菌）作用

口内の細菌増殖を抑制し、常在菌をコントロール。（グラム（+）、グラム（-）、真菌、ウイルスなど）

③中性域のPH

普段は中性の口内ですが、飲食後は酸性に傾き虫歯になりやすくなります。唾液はPHを中性に戻す役割があり、ペプチサルはPHが中性域のため虫歯予防も期待できます。



バイオフィームに対する効果 ※1

ミーティス菌などの「初期定着群」がバイオフィームを作り始め、その後虫歯菌や歯周病菌など病原性の高い「後期定着群」がバイオフィームを形成していきます。バイオフィーム形成をみた試験では、阻害効果が確認できました。

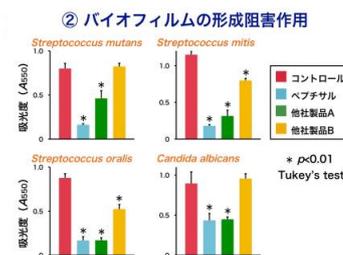
ペプチサル活用術～

マウスウォッシュを使用した活用例です。
ぜひご覧ください。



毎日使うものだからこそ安全性を重視し、アルコール、パラベン（防腐剤）、発泡剤等は配合しておりません。身体にやさしい成分でつくられた低刺激性タイプですので、口内がデリケートな方、ドライマウスや口腔粘膜の痛みやすい方、要介護の方の口腔ケアにおすすめです。

サンプルのご依頼、製品説明会（使い方）なども承っておりますので、お気軽にお問合せください。



口腔内常在菌コントロール・バイオフィーム抑制効果

※1 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座

小川 泰治先生ご提供資料より

第9回 理事会議事録

日時：令和4年12月23日(金) 19時00分～20時10分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、
佐々木、高橋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

欠席理事：なし

<協議事項>

1. 第14回学術大会記録集のHP掲載が①表紙②プログラム③実行委員名簿のみとなるタイミングで、第11回・第12回学術大会の記録集についても同様の対応をすることが承認された。

<報告事項>

1. 新卒者研修会「認知症サポーター養成講座」「高次脳機能障害+失語症」の開催が報告された。
2. やまなし地域リハケアの推進を考える会研修会2022、第3回山梨県リハビリテーション専門職団体協議会理事会、一般社団法人日本語聴覚士協会令和4年度学校教育部連携担当者連絡協議会、令和4年度介護職場人材育成研修について報告された。
3. 「言語聴覚士の日」関連イベントについての日本語聴覚士協会への報告、写真データ管理について報告された。
4. 日本語聴覚士協会第1回災害基礎研修会への参加が報告された。
5. インクルーシブ教育推進事業の実績、日本語聴覚士協会学校教育連携担当者連絡協議会の開催が報告された。
6. 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 地域支援事業等推進委員会主催研修会の開催が報告された。
7. 第8回・第9回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会、修了式について報告された。
8. 第14回学術大会の開催が報告された。

第10回 理事会議事録

日時：令和4年1月27日(金) 19時00分～20時02分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、桂川、
佐々木、高橋、舟越、元木、吉澤、河西

欠席理事：市川、山田

<協議事項>

1. 令和5年度定時社員総会は、5月19日(金)19時より湯村温泉病院3階多目的ホールにて、現地開催+Zoom配信で開催することが決定した。
2. 県士会NEWS55号に「会員に聞く～10年目の声～」、失語症全国大会のお知らせを掲載することが決定した。

<報告事項>

1. 第3回症例検討会、第2回生涯学習プログラム基礎講座について報告された。
2. 日本語聴覚士協会 士会協会間の連携体制構築検討会、第2回関東都県士会長会議について報告された。
3. 県士会NEWS54号の原稿校正作業の実施、HP更新状況、県士会トップページ写真の変更が報告された。
4. 日本語聴覚士協会第2回災害基礎研修会への参加が報告された。

第11回 理事会議事録

日時：令和4年2月17日(金) 19時01分～19時54分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、
佐々木、高橋、舟越、吉澤、河西

欠席理事：元木、山田

<協議事項>

1. 新入会員については、入会申込があった直近の理事会で承認を得たのち、本人へ通知すること、理事会議事録に氏名を明記することが決定した。

<報告事項>

1. 第2回学術講演会、第4回症例検討会、新卒者研修会「SLTA」の開催が報告された。
2. 令和4年度高校生1日リハビリテーション体験、令和4年度第2回インクルーシブ教育システム推進連携会議について報告された。
3. 災害時安否確認システム 第3回予行演習の実施、山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会について報告された。
4. 第5回山梨県訪問リハビリテーション委員会 研修会①「家屋調査研修会」(POSバンク委託事業)、研修会②「生活期リハビリテーション研修会」について報告された。
5. 地域リハビリテーション活動支援に関する都道府県言語聴覚士会担当者会議への出席が報告された。
6. 文部科学省委託令和4年度がん教育総合支援事業について報告された。

第12回 理事会議事録

日時：令和4年3月22日(水) 19時02分～21時02分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、
佐々木、高橋、舟越、山田、吉澤、河西

欠席理事：元木

<協議事項>

1. 令和5年度 外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査の小児分野の障害名の変更について承認された。

<報告事項>

1. 第3回学術講演会、第5回症例検討会の開催、次年度の症例検討会発表希望者について報告された。
2. 日本語聴覚士協会 令和4年度障害福祉(福祉事業所・小児医療療育施設)担当者連絡協議会、第14回甲府市在宅医療・介護連携推進会議、甲府市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する代表者会議、山梨県リハビリテーション支援センター連絡会について報告された。
3. 第11回「ふじやま」定例会の開催、ふじやま通信作成について報告された。
4. 県士会会員向けオンライン研修会「意思疎通支援事業についての現状報告と今後の派遣事業展開について」、第2回派遣支援報告会について報告された。
5. 第14回学術大会収支決算について報告された。

開催方法：オンライン会議

議長：内山量史

書記：廣瀬李菜、高橋里実、佐藤淳貴、望月智佳

議事録作成：河西祐子

<各局・委員会からのお知らせ>

事務局

・事務局総務部では、県士会活動が円滑に行えるよう社員総会や理事会の開催・議事録の作成、Zoomミーティングの設定、各種情報の発信、会員情報管理、財務部では、会費徴収や法人税の支払い等の財務管理を行っています。

・新年度は6名の入会がありました。正会員は138名、賛助会員は6団体です。

すでに多くの会員に会費を納入していただきましたが、まだお済みでない方は佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

(年会費：10,000円)

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

今年度も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

学術局

昨年度は学術局主催の講演会や研修会にご協力いただきありがとうございました。本年度もより充実した内容の講演会や研修会を企画できるように努めてまいりますので、ご参加の程よろしくお願い致します。

<教育部>

新卒者研修会を例年通り計画しております。日程が決まり次第、会員の皆様へご案内します。

<生涯研修部>

○基礎講座

・第1回基礎講座

会場：Zoomで開催

日時：令和5年7月18日(火) 18:30~20:00

内容：①協会の役割と機構

講師：内山 量史先生(春日居総合リハビリテーション病院)

内容：②職種間連携

講師：桂川 謙祐先生(甲府城南病院)

○症例検討会

・第1回 症例検討会

会場：Zoomで開催

日時：令和5年6月15日(木) 18:30~20:30

・第2回 症例検討会

会場：Zoomで開催

日時：令和5年8月17日(木) 18:30~20:30

・第3回 症例検討会

会場：Zoomで開催

日時：令和5年10月19日(木) 18:30~20:30

・第4回 症例検討会

会場：Zoomで開催

日時：令和5年12月21日(木) 18:30~20:30

・第5回 症例検討会

会場：Zoomで開催

日時：令和6年2月15日(木) 18:30~20:30

社会局

社会局は渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の3部体制で活動しています。

<渉外部>

日本言語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの他団体との連携や行政との連携・協力を行っています。

今年度も「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」を実施します。新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、徐々に会員同士で交流の機会が増えてくると思います。今まで以上により一層円滑な医療・介護連携を図り続けたいと考えていますのでご協力をお願い致します。

<広報部>

一般の方々に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を図っていきます。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、少しずつイベント活動が再開されると思われますが、今までと同様に感染対策に努めた中での広報活動に参加していきたいと思います。

<会報編集部・ホームページ管理部>

会報誌「県士会 NEWS 55号、56号、57号」の発行を行い、県士会活動だけでなく会員間のコミュニケーションツールとして、多岐にわたる情報を伝えていきたいと思っています。

ホームページではより県士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進していきます。また、ホームページトップページ上段に掲載する写真を会員の皆様から募集しています。写真は県士会活動の様子や会員の集合写真、また会員から募集した山梨県の季節、名所の写真などをホームページへ掲載しています。ご協力をお願い致します。

災害対策支援委員会

今年度も災害時安否確認システムの予行演習を実施致します。平時から災害対策・対応基盤の構築が必要とされますので、会員の皆様のご参加をお願い致します。

昨年度、日本言語聴覚士協会主催の災害基礎研修会に赤池洋副会長、中嶋監事で参加しました。今年度は当士会の災害対策支援委員会研修会として災害基礎研修会の伝達研修を予定しております。宜しくお願い致します。

ふじやま運営委員会

令和5年3月4日(土)に3年ぶりの失語症友の会「ふじやま」定例会を開催いたしました。

山梨県地域づくり交流センターにて当事者さん・ご家族18名、失語症者向け意思疎通支援者6名、ST11名の総勢35名が集いました。近況報告をし合ったり、9月30日に控えている「失語症全国大会 in やまなし」に期待を膨らませたりと、皆さんと賑やかに楽しいひと時を過ごすことができました。全国大会に向け、準備から気持ちも共に盛り上げていきたいと思っています。

令和5年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

令和5年5月現在

【医療関係】

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890	しもへ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	城東病院 療養支援部	400-0861 甲府市城東 4-13-15	Tel 055-233-6411
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	新藤歯科医院	400-0123 甲斐市島上条 490-3	Tel 055-277-7195
甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3990	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017	笛吹中央病院 リハビリテーション技術科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985
春日居総合リハビリテーシ ョン病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0032 富士吉田市上吉田東 7-11-1	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信梨北リハビリテーショ ン病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992
健康科学大学 クリニック リハビリテーション課	401-0302 南都留郡富士河口湖町小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲州リハビリテーション 病院 リハビリテーション部	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569
甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 Fax 055-241-8660	湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579
国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597	竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262
巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614			

【介護・福祉・教育関係】

おおくに在宅ケアセンター おおくに訪問リハビリテーション	400-0053 甲府市大里町 5328	Tel 055-220-2555 Fax 055-220-2556	ノーサイドクリニック 甲府教室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401
合同会社むすぶ 放課後デイサービスむすぶ	400-0114 甲斐市万才 449	Tel 055-225-5217 Fax 055-225-5218	訪問看護ステーション つゆき	400-0862 甲府市朝氣 3-18-5	Tel 055-223-1234 Fax 055-226-3387
介護老人保健施設 はまなす	401-0301 南都留郡富士河口湖町 船津 6901	Tel 0555-83-3285 Fax 0555-83-3286	富士・東部小児リハビリテーシ ョン診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
介護老人保健施設 ひばり苑 リハビリテーション科	409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰 1277	Tel 055-275-9511 Fax 055-275-9512	山梨県立聾学校	405-0016 山梨市大野 1009	Tel 0553-22-1378 Fax 0553-22-6419
介護老人保健施設 ふじ苑	406-0004 笛吹市小松 855-6	Tel 0553-26-5001	竜王リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション事業所	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221			

在宅 HEALTH CARE FOOD 通信販売

病院で使われている医療・介護用食品をご家庭にお届けしています。

高栄養・やわらかい飲み込みやすいをサポート

送料無料で2-12月まで

↑カタログのご請求はこちらからどうぞ↓

はつらつ食品カタログには、やわらかさの程度や形態別に分類されたおかずやデザート、とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
☑ 飲食時によくむせる方に
☑ 食の細い方に

株式会社ヘルシーネットワーク

〒191-0012 東京都日野市日野756
TEL 0120-236-977
FAX 0120-478-433

受付時間 月～土 9:00～17:00 (日・祝日は休業日となります)

ヘルシーネットワーク 検索

https://www.healthynetwork.co.jp

やさしい聴こえのお手伝い

● 認定補聴器技能者在籍
● 補聴器の無料体験
● 支援法補聴器取り扱い

認定補聴器専門店
なかだて補聴器センター

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

Gジェントル スティム

リハビリテーションのための
新たな電気刺激装置

痛くない療法
感覚刺激
使いやすい

おいしいもくもくごっくん

foodCare JAPAN

TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

つるりんこ シュワシュワ

飲み込みにくいと感じる方が
おいしく、楽しく調整飲料を摂取するために

コーラ ノンアルコールビール ジンジャーエール 果汁系炭酸飲料 高級炭酸飲料

他にも、豊富なラインアップがあります。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。

☎0120-52-0050 クリニコ 検索

受付時間：平日 9:30～17:00 (土日祝日・年末年始・5/1除く) https://www.clinico.co.jp

森永乳業グループ 病態栄養部門
株式会社クリニコ

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。

Atos Breathing-Speaking-Living

株式会社アトスメディカルジャパン
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

Pepti-Sal 唾液のチカラで健康と笑顔を

Oral Health for Everyone

デリケートなお口をやさしくケアし
お口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal (ペプチサル) とは「Peptide (ペプチド)」+「Saliva (唾液)」の造語。唾液のチカラに着目して開発された、低刺激性のオーラルケア製品です。要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

MouthGel Mouthwash Toothpaste

T&K ティーアンドケー株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋本町1-10-7
TEL 03-5645-0253 FAX 03-5640-0252

www.comfort-tk.co.jp

編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと変更され、世間では長く暗いトンネルから光が見えてきたような、そんな雰囲気を感じています。勿論、新型コロナウイルス感染症が全くなくなったわけではないので、気が抜けない生活を送っていますが、私の2人娘の通う学校からも通常に戻った行事の案内が毎週のように届き、仕事もプライベートも充実した毎日を送っています。

山梨県言語聴覚士会も3年越しの思いで9月に失語症全国大会を開催する予定です。多くの方々の再開・再会を叶えられるよう準備を進めて参ります。

本号は55号目の発刊となりました。私の大好きだった巨人軍「ゴジラ松井」のように火を噴く勢いで前に前に進んでいけたら嬉しいです。(桂川 謙祐)

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
<発行人> 内山 量 史
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP管理部

石 和 共 立 病 院 原 田 史 佳
春日居総合リハビリテーション病院 志 摩 美 月
甲 府 城 南 病 院 秋 山 仁 哉・桂 川 謙 祐
河 村 有 美
湯 村 温 泉 病 院 高 木 建 汰
山梨大学医学部附属病院 赤 池 洋

<事務局> 春日居総合リハビリテーション病院 言語療科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2023年7月1日 第55刊